



## 言語の壁

新潟大学教育学部附属新潟中学校 3年 高橋 侑珠子

この研修で、ホームステイに参加し、モンゴルの人との交流を深め、一般的な家庭の日常を体感することができた。ホストマザーの方は日本語でたくさん話しかけてくださって、過ごしやすい雰囲気を作ってくださいました。ホストファザーは日本語が得意ではないけれど、陽気に英語で話してくださいました。ホストブラザーの2人はまだ5歳と3歳で、やんちゃでとても明るく、一緒にいるだけで楽しい時間を過ごせた。その後、ホストブラザーたちとふれ合っていく中で驚いたことがあった。それはモンゴル語が分からないにも関わらず、コミュニケーションを取ることができたという事だ。また、1日しか一緒に居ることができなかったが、帰るのを引き止められたという事だ。文化や習慣の違いに驚きとまどってしまった事もあった。しかし、分からないなりに頑張って、身振り手振りを使って話して遊んだこと。言語関係なく気持ちが通じて笑い合えたこと。これは、私の大切な宝物になった。そして、「会えなくなるなんていやだ。絶対に帰らせないんだから。」と泣いて引き止められたことは、短い間でできた絆を感じさせる忘れられない瞬間となった。このモンゴルでの経験は、言語という壁を恐れずに、何事にもチャレンジをするべきだということを思い出すことのできた経験だった。